

# 令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年7月29日

評価者	市民防災部長 永野 英樹
-----	--------------

## ○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野 6-(2) 観光	施策の方針	6-(2)-①観光振興の推進
目標とするまちの姿	多様なプログラムと効果的な情報の提供により、訪れた観光客が、鎌倉の歴史や伝統などを十分に満喫できる、魅力あふれる都市になっています。 また、観光客と市民との情報共有や交流が進み、地域全体で観光振興に取り組み、地域の活性化が図られています。		
主な取組	(1)ホスピタリティの向上と観光客のモラル向上 市民・事業者のホスピタリティの向上や、ボランティアガイドの育成等とともに、観光客のモラル向上を図り、市民と観光客がともに快適に過ごせる環境づくりを推進します。 (2)観光振興による地域の活性化 観光消費や交流人口の拡大を通じた地域の活性化を図るため、インバウンドへの対応や、新たな観光資源を発掘し、歴史的遺産や自然環境とともに積極的に活用します。また、有効かつ魅力的な情報の発信等を通じた、観光需要の平準化や滞在時間の長時間化に向けた取組を推進するとともに、観光資源を生かした収入確保策や受益者負担の仕組みづくりを進めます。 (3)多様な取組主体の参画と連携 観光事業者や観光団体、生産者、市民団体などのネットワークを拡げ、主体間の連携を強化し、地域全体で観光振興を推進します。		

## 1 成果指標

成果指標①	一人当たり観光消費額(宿泊客)					出典	鎌倉市の観光事情		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和元年8月21日	円	目標値	24,500	25,000	25,500	26,000	26,500	27,000	
23,683		実績値	20,815	未定					
		達成率	85.0%	—					
成果指標②	一人当たり観光消費額(日帰り客)					出典	鎌倉市の観光事情		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和元年8月21日	円	目標値	6,500	6,750	7,000	7,250	7,500	7,750	
6,243		実績値	5,116	未定					
		達成率	78.7%	—					
成果指標③	観光客の平均滞在時間数					出典	鎌倉市の観光事情		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和元年8月21日	時間	目標値	5.0	5.1	5.2	5.3	5.4	5.5	
4.9		実績値	4.3	未定					
		達成率	86.0%	—					

## 2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	47,206	285,294				
人件費	35,502	65,896				
総事業費	82,708	351,190				

### 3 担当部評価

#### (1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

##### 市民防災部

新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言等により、不要不急の外出の自粛などにより、観光消費額、滞在時間は令和2年度と同様に軒並み低水準となった。

#### (2)今後の方向性

##### 市民防災部

新型コロナウイルス感染症の終息後を見越して、宿泊観光の推進のための宿泊事業者等との連携、周遊観光による観光客の分散化への取組みなどに引き続き取り組むとともに、地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的なアプローチを取り入れた観光地域づくりを行うかじ取り役となる法人(DMO)の検討を進め、多様なプログラムと効果的な情報の提供により、訪れた観光客が、鎌倉の歴史や伝統などを十分に満喫できる、魅力あふれる都市になるよう取り組む。  
また、観光客と市民との情報共有や交流が進み、地域全体で観光振興に取り組み、地域が活性化するよう取り組む。

#### (3)施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
重	市民-12	観光振興事業		7,000	15,063	22,063	改善・変更	A	改善・変更
	市民-16	観光運営事業		1,715	17,450	19,165	現状維持	A	現状維持
	市民-17	観光振興支援事業		230,190	32,624	262,814	現状維持	A	現状維持
	市民-18	観光協会支援事業		46,389	759	47,148	現状維持	A	現状維持

#### (4)貢献度に関する分析

##### 市民防災部

観光振興事業は、観光案内図を作成するなど観光客が直接利用するようなものを作成しており、観光客の利便性を向上させるもので、貢献度は高い。  
観光振興支援事業は、市内の団体が実施する地域が活性化するようなイベント等の支援を行うもので、観光振興に寄与するものであることから、貢献度は高い。  
観光協会支援事業は、鎌倉観光公式ガイド(観光ホームページ)の運営や「鎌倉まつり」、伝統芸能「鎌倉薪能」などの公益事業の実施を通して、本市の観光振興を推進している鎌倉市観光協会の支援を行うものであるから貢献度は高い。